

## 12月5日からの大雪の被害と対応について

### 1 被害状況

○人的被害 死者3名 (吉野川市：2名  
 つるぎ町：1名 (大雪との関連を精査中))

○孤立化・停電

市町名	孤立集落(延べ)	停電(最大)
三好市	541世帯 1,021人	1,421戸
つるぎ町	293世帯 467人	1,985戸
東みよし町	42世帯 62人	335戸
美馬市		798戸
計	876世帯 1,550人 ※ 10日13時20分 全て解消	4,539戸 ※ 12日12時6分 全て復旧

### 2 主な経緯

12月5日未明～ (金)	13:00	国道192号線(三好市)で車両約60台が立ち往生 徳島県災害対策連絡本部を設置
12月6日 (土)	7:59	高越山(吉野川市)で行方不明者2名を発見(→その後、死亡を確認)
	11:59	東みよし町長から自衛隊派遣の要求があり、知事が派遣を要請
	12:53	つるぎ町長から自衛隊派遣の要求があり、知事が派遣を要請
	16:00	陸上自衛隊第14旅団が、つるぎ町、東みよし町に到着
	18:48	三好市長から自衛隊派遣の要求があり、知事が派遣を要請
12月7日 (日)	0:15	陸上自衛隊第14旅団が、三好市に到着
	9:30	知事が消防防災ヘリコプターにより上空から被害状況を確認
	11:52	井川スキー場で従業員4名が孤立との通報(→消防防災ヘリで救助)
12月8日 (月)	7:40	つるぎ町で心肺停止の女性を発見(→その後、死亡を確認)
12月9日 (火)	7:15	安否未確認の最終1名(三好市)の生存を確認
	13:00	山谷防災担当大臣を団長とする「政府調査団」が来県 知事・議長と意見交換、知事から復旧に係る要請、大臣・知事等による現地調査
	15:00	三好市、つるぎ町、東みよし町に災害救助法を適用
12月10日 (水)	13:20	孤立が全て解消
	17:30	今後の大雪に備え、緊急の「雪害対策」を公表、着手
12月12日 (金)	17:00	陸上自衛隊第14旅団の撤収が完了

### 3 県における主な対応

- ・ 12月5日13時から災害対策連絡本部を設置し、24時間体制で、市町村をはじめ、自衛隊など防災関係機関、国の関係機関などとの総合調整を実施
- ・ 消防防災ヘリコプターによる行方不明者の捜索、孤立者の救助
- ・ 救助資機材、支援物資などの供給  
(主なもの) 発電機7台、ガソリン缶35缶、コードリール11台、灯油(18L)70缶  
水(2L)120本、焼き鳥缶300個、アルファ化米2000食  
バランス栄養食品480食、チェーンソー4台、凍結防止剤200袋
- ・ 医療救護・保健衛生チームの派遣  
三好市、つるぎ町、東みよし町へ延べ57名を派遣  
(医師4名、保健師25名、看護師11名、連絡調整員等17名)
- ・ 道路啓開や凍結防止対策の実施、農林業被害の調査・相談窓口の設置など

### 4 今後の「雪害対策」の実施について

#### (1) 集落の孤立化対策のための資機材の配備

雪による孤立者の救助や通信確保を図るため、県において必要な資機材を配備し、県における救助活動や必要な地域への貸出しを実施

##### 配備予定資機材

- 孤立者救助用資機材 (チェーンソー、救助隊員使用器具など)
- 孤立者用支援物資運搬用資材 (背負子、スノーボードなど)
- 除雪用資材 (小型除雪機、スノースコップなど)
- 孤立者用燃料・暖房器具等 (携行缶、毛布など)
- 孤立者通信確保用資機材 (小型ソーラー充電器など)

#### (2) 「とくしまー0(ゼロ)作戦」緊急対策事業(拡充)

雪による孤立化やライフラインの途絶に備えるため、支援メニューを追加し、必要な資機材の整備を行う市町村に対し支援

##### 追加する支援メニュー

- 除雪用の資機材 (小型除雪機、スノーダンプ、救出用スノーボードなど)
- 電源を要しない調理器具や暖房器具  
(灯油やLPガスを使用する器具、カセットコンロなど)
- 非常用発電機 (移動式発電機、小型ソーラー充電器など)

事業実施主体：市町村 補助率：1/2

#### (3) その他 平成26年12月10日から開始

- ※1については、予備費を充用 10,000千円
- ※2については、既決予算で対応 20,000千円